PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

04-047536

(43)Date of publication of application: 17.02.1992

(51)Int.CI.

G11B 7/24 G11B 7/00

and and the same of the same o

(21)Application number : **02-155125**

(71)Applicant: PIONEER ELECTRON CORP

PIONEER VIDEO CORP

(22)Date of filing:

15.06.1990

(72)Inventor: IWATA HIROTAKA

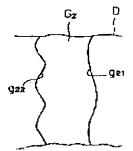
MURAKAMI YUTAKA

(54) OPTICAL INFORMATION RECORDING MEDIUM

(57)Abstract:

PURPOSE: To improve recording density by performing the multiplex-recording of several kinds of information on both edge parts of a guide groove by making both edge parts of the guide groove meander independently corresponding to additional information.

CONSTITUTION: The meandering of the guide groove G2 formed on an optical disk D is performed corresponding to a first carrier signal in which the edge part g21 on one side is frequency-modulated by first additional information, and it is performed corresponding to a second carrier signal in which the edge part g22 on the other side is frequency-modulated by second additional information. In such a case, the frequencies of the first and second carrier signals are selected as the ones not giving disturbance on a servo signal and data. Thereby, it is possible to improve the recording density by performing the multiplex-recording of the plural kinds of information on both edge parts of the guide groove, respectively.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

① 特許出願公開

@ 公 開 特 許 公 報 (A) 平4-47536

Slnt. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成4年(1992)2月17日

G 11 B 7/24 7/00 B Q 7215-5D 9195-5D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

の発明の名称 光学式情報記録媒体

②特 願 平2-155125

⊘出 願 平2(1990)6月15日

@発明者 岩田

博費

山梨県甲府市大里町465番地 パイオニアピデオ株式会社

国母工場内

@発明者村上

裕

山梨県甲府市大里町465番地 バイオニアビデオ株式会社

国母工場内

勿出 願 人 バイオニア株式会社

東京都目黒区目黒1丁目4番1号

⑪出 願 人 バイオニアビデオ株式

山梨県中巨摩郡田富町西花輪2680番地

会社

四代 理 人 弁理士 滝野 秀雄

外2名

明 福 書

1.発明の名称

光学式情報記録媒体

2. 特許請求の範囲

光学的に情報を書き込むべき表面に案内溝が形成され、前記案内溝の中または前記案内溝間に情報を記録する光学式情報記録媒体において、

前記案内帯の一方の縁部を蛇行させて第1の付 加情報を持たせるとともに、前記案内溝の他方の 縁部を前記一方の縁部とは独立させて蛇行させ、 第2の付加情報を持たせたことを特徴とする光学 式情報記録媒体。

3.発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は、案内帯を有する追記型または書き 換え可能型の光学式情報記録媒体に関するもので ある。

〔従来の技術〕

追記型または書き換え可能型の光学式情報記録

媒体としての光ディスクは、トラッキングのために、例えば案内滯が形成されるとともに、案内滯の中または案内滯間に所定の間隔で凹凸ピットの形でアドレス情報、クロック情報などがあらかじめ設けられている。

しかしながら、アドレス情報などの凹凸ピット が形成されている領域は、情報記録領域として利 用できない。

また、アドレス情報はできるだけ多く記録されていることが望ましいが、アドレス情報を多く記録すると、情報記録領域が少なくなり、記録できる情報量が少なくなってしまう。

そこで、最近、第4図に示すように、アドレス 情報信号で周波数変調した難送波信号に応じて蛇 行させた案内準G,を有する追配型の光ディスク Dが提案されている。

なお、この案内溝G; の機幅は一定であり、案 内溝G; の両縁部g::, g::のうねりは同一であ

このような案内溝付の光ディスクDは、光学式

ビデオディスクやコンパクトディスクのディスク 作成プロセスを略そのまま使用して作成できる。

すなわち、ガラス基板上にホトレジストを所定 の厚さでスピンコートし、アドレス信号で周波数 変調した搬送波信号に応じてアルゴンレーザなど の光ピームを偏向器によって蛇行させながら照射 し、現像して得られた原盤からスタンパを作成し、 このスタンパによって形成された合成樹脂製のディスク基板上に記録層、保護層などを形成するこ とにより、上述したような案内準付の光ディスク Dが得られる。

(発明が解決しようとする課題)

ところで、上配した従来の追配型の光ディスク Dにおいて、案内帯 G: に多重できる付加情報は 搬送被信号の周波数をタイミング情報として用い れば、アドレス情報とタイミング情報の2種類と なるが、これら以外の種々の情報を多重記録して 記録密度を向上させることが望まれている。

この発明は、上記した要望に応えるためになさ

第1図はこの発明の一実施例による光学式情報 記録媒体の一部分を示す平面図であり、Gェは光 ディスクD上に形成された案内沸を示し、一方の 緑部 8 x x を第1の付加情報で周波数変調した第1 の搬送波信号に応じて蛇行させ、かつ、億方の緑 部 8 x x を第2の付加情報で周波数変調した第2の 搬送波信号に応じて蛇行させてある。

なお、第1および第2の搬送波信号の周波数は、 サーボ信号およびデータに妨害を与えない周波数 が選択されている。

次に、この発明の光学式情報記録媒体の原盤を 作成する光学式情報記録装置について、第2因に 基づいて説明する。

まず、アルゴンレーザなどのレーザ光源1から出たレーザピームしはハーフミラーなどの第1のピームスプリッタ2によって2分され、一方のレーザピームしは超音波偏向器などの第1の光ピーム偏向器4Aに供給され、他方のレーザピームしは第1のミラー3で反射されて超音波偏向器などの第2の光ピーム偏向器4Bに供給される。

れたもので、案内線の両縁部に複数種類の情報を それぞれ多重記録させて記録密度を向上させた光 学式情報記録媒体を提供するものである。

(課題を解決するための手段)

この発明にかかる光学式情報記録媒体は、案内 講の一方の縁部を第1の付加情報に応じてうねら せるとともに、他方の縁部を第2の付加情報に応 じてうねらせたものである。

〔作 用〕

(実施例)

以下、この発明の実施例を図に基づいて説明する。

そして、分割された両レーザビームしは第1または第2の光ビーム偏向器4A,4Bにより、第1または第2の付加情報信号に応じてそれぞれ微少撮動が与えられる。

第1の光ピーム偏向器 4 A は、周波数変調した 第1の搬送波信号 frm: (第3図(e)) が供給されると、レーザピーム L を第1の搬送波信号 frm: に応じて偏向させるとともに、案内溝形成方向と 直行する方向に微少援動させた第1の1次回折光 ビームし口を発生する。

第2の光ピーム偏向器4Bは、周波数変調した第2の搬送波信号 1 rm 2 が供給されると、レーザピーム L を第2の搬送波信号 1 rm 2 に応じて偏向させるとともに、案内沸形成方向と直行する方向に微少援動させた第2の1次回折光ピーム L 2 1 を発生する。

し、ターンテーブル14aに装着した原盤Rを回 転させている。

また、記録光学系13は、基準信号発生回路1 4 eからの基準信号を受けた送り機構部分14 d により、回転する原盤Rの半径方向に移動する。

このように、異なる付加情報信号に応じてそれぞれ微少援動させた2本のピームを案内得形成方向と直交する方向に並べるとともに、一部が重なり合うようにホトレジスト面上に結像させて舞光することにより、第1因に示したように蛇行した窓内溝G:が形成できる。

(発明の効果)

以上のように、この発明によれば、案内溝の両 縁部をそれぞれの付加情報に応じて独立に蛇行さ せたので、案内溝の両縁部に複数種類の情報をそ れぞれ多重記録でき、記録密度を向上させること ができる。

4.図面の簡単な説明

第1図はこの発明の一実施例による光学式情報

なお、Lie, Lieは同時に発生する第1および 第2の0次光ビームであるが、これらは使用され ない

第1の光ビーム偏向器 4 Aから出た第1の1次 回折光ビームしいはハーフミラーなどの第2のビームスプリッタ12に入射し、第2の光ビーム偏 向器 4 Bから出た第2の1次回折光ビームしょは 第2のミラー11を介して第2のビームスプリッタ12に入射し、反射される。

この第1および第2の1次回折光ビームしい, しいは、案内構形成方向と直交する方向に並び、 一部が重なり合うように第2のミラー11などに よって調整され、記録光学系13を構成するミラー13a、対物レンズ13bを介してガラス円板 上にホトレジストが塗布された原盤Rのホトレジスト面に結像する。

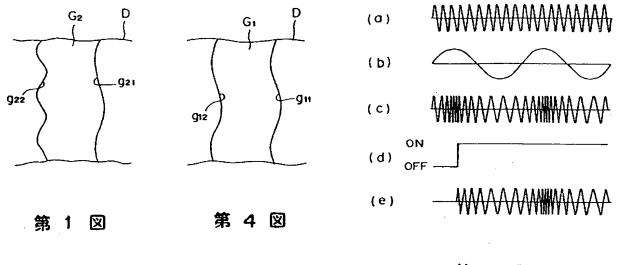
原盤Rはモータ14bによって駆動されるターンテーブル14a上に装着され、基準信号発生回路14aからの基準信号を受けたモータ駆動回路14cは駆動信号を発生してモータ14bに供給

記録媒体の一部分を示す平面図、

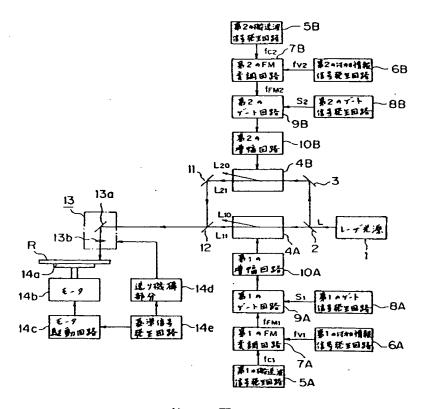
- 第2図は第1図に示した光学式情報記録媒体の 原盤を形成する光学式情報記録装置の構 成を示すプロック図、
- 第3図(a)~(e)は第2図における一部の信号を示す波形図、
- 第4図は従来の光学式情報記録媒体の一部分を 示す平面図である。

D…光ディスク、G: …案内構、 8:z, 8:z. … 経部。

特許出職人		<i>ा</i> त्र	・ニア	株式会	社	
-	同	パイオニアビデオ株式会社				
代	理人	被	野	秀	雄	
	邑	ф	内	康	雄	
	局	有	坂		惸	



第 3 図



第2図